



もいみんだより



町内 新春行事



- 議長新年あいさつ…………… 2
- 12月定例会・1月臨時会報告…………… 3～4
- 一般質問(9人)…………… 5～14

- 令和5年度予算編成基本方針…………… 15
- 追跡リポート・委員会報告…………… 16～17
- 委員会レポート・編集後記…………… 18



安芸太田町議会議長

中 本 正 廣

新年あけましておめでとうござ
います。

町民の皆様、輝かしい新春をお
迎えることとお喜び申し上げます。

平素は、町議会の運営に対しま
して、格別のご理解とご協力を賜
り、心よりお礼申し上げます。引
き続き、ご意見ご叱声をよろしく
お願いいたします。

さて、令和4年を振り返ります
と、ロシアがウクライナに侵攻攻
撃をを始め、多くの犠牲者を出し
ています。悲惨な状況を見るに、
いかに平和が大切だと思えます。
また世界の送金ネットワークS
WIFT（スイフト）制裁やウク
ライナが持つ資源が輸出し辛くな
ることによる経済的なダメージも
発生しています。

ロシアのウクライナ侵攻を受け
て、食品や日用品、ガソリン等あ
らゆるものが相次いで値上がりし
ており、生活に支障をきたしてい
ます。一時も早く、この悲惨な事
態の終息を願うばかりです。

また、依然として全国で猛威を
振るっている新型コロナウイルス
ですが、オミクロン株に置き換わ
り、感染が広がりを見せています。

安芸太田町内においても、感染
症対策を行いながらの生活を余儀
なくされており、今後も新しい生
活様式を継続し、感染防止に努め
ていかなければなりません。

そのような厳しい環境の中でも
町主催行事としては、3年ぶりに
深入山の山焼き、文化芸能フェス
ティバル、吉水園秋の一般公開な
どが開催され、多くの観光客で賑

わいました。

そして、町では安芸太田町DX
（デジタルトランスフォーメーシ
ョン）推進計画に基づき、11月中
旬から、7,000円を付与した
moricaカードが町民の皆様
に交付されました。アフターコロ
ナを見据えた本町全体の情報化推
進に取り組んでいくところでござ
います。

4月からは、人材育成交流セン
ター「黎明館」の供用が開始され
ました。10月現在、県内から12人、
県外から33人の合計45人の加計高
校生が入居され、成果が上がって
いるところでございます。加計高
校の存続に向けて、大いに期待で
きるところでございます。

議会内においては、総務常任委
員会・産業建設常任委員会が先進
地視察を行って、議員活動に役立
てています。

一般質問については、一括質問
方式・一問一答方式の両方を導入
しました。

また、大きな事業計画を進めて
いる加計スマートインターのフル
インター化計画と、道の駅来夢と

ごうち再整備計画について、昨年
の春から、国及び広島県・広島市
への陳情要望活動を実施してまい
りました。加計スマートインター
のフルインター化計画については、
9月30日に国において必要性が認
められ、準備段階調査箇所（全国
で4箇所の中の1つ）に選定さ
れました。

議会といたしましても、町が抱
える課題が着実に解決へ向かうよ
う十分協議を重ねて、町民の皆様
の負託に応えるべく努力をして参
ります。

今後とも、安芸太田町議会に対
しまして、ご理解とご支援を賜り
ますとともに、この1年間が皆様
にとって、幸福な年となりますよ
うお祈りを申し上げ、新年のご挨拶
とさせていただきます。



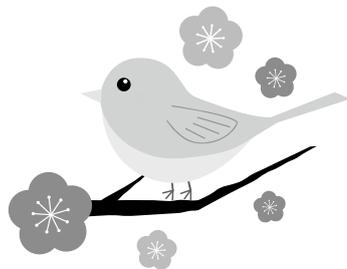
12月・1月議会で決まったこと!

12月・1月 開催議会

12月・1月は、12月5日から9日まで第7回定例会が開催され、1月16日には第1回臨時会が開催されました。

町では、令和5年度の予算編成も開始され、橋本町長の3回目の予算編成が開始されました。

町の人口減少対策は、まった無しの状況です。橋本町政の具体的な施策展開を求めています。



一般会計(第5号)

一般会計・歳入歳出 【可決】

歳入歳出に1億8,449万4千円を増額し、歳入歳出予算総額を85億6,133万2千円に増額

歳入の主なもの

・国・県補助金

7千78万円

・起債等

5千102万7千円

・財政調整基金繰入金

6千268万7千円

歳出の主なもの

・災害復旧費

8千329万7千円

・電力価格高騰対策

2千913万7千円

・人事院勧告対応給与費

303万1千円

条例改正等

・議案第79号

安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について
(いこいの村ひろしま)

・議案第74号

議案第75号

議案第76号

安芸太田町職員の給料、町三役、議会議員の期末手当支給月数の改定に係る条例改正

・議案第90号

職員の定年年齢の引き上げ等に伴う関係条例の整備について
外3議案

※令和5年度から職員の定年年齢が引き上げられることに伴う、関係条例の制定・及び一部改正等
(令和5年度から2年に一歳つづ定年年齢が引き上げられ、最終的には定年年齢が65歳となる)



12月定例会で決まったこと

令和4年第7回定例会

(12月5日～9日)

議案番号	件名	採決
同意第7号	安芸太田町内黒山財産区管理委員の選任について	全会一致
議案第72号	行政不服審査会事務の事務委託に関する規約の変更の協議について	賛成多数
議案第73号	広島県市町総合事務組合規約の変更について	全会一致
議案第74号	安芸太田町職員の給与に関する条例及び安芸太田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃
議案第75号	安芸太田町特別職の職員で常勤のものものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
議案第76号	安芸太田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃

12月・1月議会で決まったこと!

議案番号	件名	採決
議案第77号	安芸太田町営住宅条例の一部改正について	全会一致
議案第78号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について (安芸太田町杉の泊ホビーフィールド)	//
議案第79号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について (安芸太田町いこいの村ひろしま)	//
議案第80号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について (安芸太田町深入山グリーンシャワー)	//
議案第81号	令和4年度安芸太田町一般会計補正予算(第6号)	//
議案第82号	令和4年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第83号	令和4年度安芸太田町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第84号	令和4年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議案第85号	令和4年度安芸太田町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第86号	令和4年度安芸太田町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第87号	令和4年度安芸太田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第88号	令和4年度安芸太田町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第89号	令和4年度安芸太田町病院事業会計補正予算(第3号)	//
議案第90号	職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備について	//
議案第91号	安芸太田町職員の降給に関する条例の制定について	//
議案第92号	安芸太田町職員の定年等に関する条例の一部改正について	//
議案第93号	安芸太田町職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第94号	工事請負契約の変更について(旧松原小学校解体工事-工期変更)	//
請願第5号	増水時における修道橋の安全性に関する請願(修道振興協議会)	//

賛否の分かれた議案の表決結果について

議案番号等	議員名												
	角田伸一	斉藤マユミ	佐々木道則	小島俊二	末田健治	大江厚子	影井伊久美	田島清	矢立孝彦	津田宏	佐々木美知夫	中本正廣	
議案第72号 行政不服審査会事務の事務委託に関する規約の変更の協議について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—	

【○賛成 ●反対】 ※議長は賛否に関わることができません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「採決権」が認められています。

1月臨時会で決まったこと

令和5年第1回臨時会

(1月16日)

議案番号	件名	採決
議案第95号	工事請負契約の締結について(町道本郷線戸河内橋 橋梁補修工事)	全会一致
議案第96号	工事請負契約の変更について(旧松原小学校解体工事)	//

一般質問 町の未来（アシタ）を問う！

一般質問とは 議員が町民の代表として、町の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問することで、政策の見直しや提言等を行います。

◆年4回の定例会で行います。 ◆質問時間は、1人1時間以内（答弁含む）です。12月定例会では、12月6日、7日の2日間で9人の議員が一般質問を行いました。

町政課題で活発な論戦を展開！

ページ	質問議員	質問項目
6	角田伸一 【一問一答】	①次年度予算編成方針について ②森林セラピーについて ③豚熱について
7	大江厚子 【一問一答】	①学校教育について（教育大綱策定を含む） ②高齢者医療・介護保険について
8	佐々木道則 【一括】	①令和4年度主要事業進捗状況について ②まち・ひと・しごと創生総合戦略評価について ③内部統制について
9	影井伊久美 【一問一答】	①子どもの専門医療機関通院に対する支援について
10	斉藤マユミ 【一問一答】	①自然豊かな安芸太田町の観光への取り組みについて ②移住・定住に対する空き家の確保について ③「地域共通電子マネー」もりかカードについて
11	末田健治 【一問一答】	①空き家対策について ②林道管理について ③移住対策について ④加計スマートICフルインター化の取り組みを問う ⑤養作り支援について
12	田島清 【一問一答】	①観光振興の推進について ②黒い雨の申請について ③児童・生徒の安心・安全な通学手段について
13	小島俊二 【一問一答】	①令和5年度予算編成に当たって ・令和5年度予算、橋本町政の具体的施策について ・危機管理体制について
14	矢立孝彦 【一問一答】	①町の資源による地域活性化について ・徹底した「水資源」の活用戦略について ・「負の資源」ととらえられている事案の蘇生策について



(注) 答弁の概要を、次ページ以降に、掲載しています。

問 次年度予算編成基本方針は



角田 伸一 議員

問 橋本町長にとって、3年度目の予算編成となるが、次年度の予算編成基本方針について答弁を求める。

答 町長

町政を担って2年目の折り返しを過ぎ、2回の予算編成を経験しました。ここに来て、各種施策も少しずつではありますが具体化してまいりました。

この2年の間に様々な施策判断をさせていただきましたが、とりわけ風力発電の受け入れの問題や水道事業の広域連携の問題は、目の先の対応だけではなく、本町の将来像にも深く関わってくるテーマだったからこそ、難しい判断だったと思います。

結果として、本町としては、水を資源として捉えるまちづくりについて、今後深掘していこうと考えております。

次年度の予算編成にあたっては、事業の選択と集中、エビデンスに基づく効果的な政策形成。特に重点的に取り組むべきポイントについては、昨年同様骨太プログラムとついでいます。

問 安芸太田町が目指す町づくりにおいて、重要とされる新規事業・継続して取り組む重要な事業について、考えを伺う。

答 町長

これから12月末までにかけて、令和5年度戦略的重点プログラムに沿った、候補事業のヒアリングを行うこととしていますが、これから一連の作業を経た後、具体的な次年度の戦略的重点事業を提示する予定であります。骨太プログラムにおいて示した「住み続けたい、住んでみたい」まちづくりの具現化で示しています。



森林セラピーについて

問 モニターツアーを実施されたとの情報があるが、モニターツアーに参加された人の年齢や職種の傾向について。

また、参加者の反応・意見はどうだったか。

答 産業観光課長

林野庁の「森林サービス産業」モデル事業の採択を受け、「企業向けリフレッシュモニターツアー」を10月29、30日に実施しました。

7社15名（保健師、企業人事担当、企業福利厚生担当、産業医）が参加し、龍頭峡、深入山での森林セラピーやセラピー弁当等の食事の提供と生理測定によりエビデンスの収集を行いました。

反応として、参加した企業3社から、来年度の社員研修の実施を計画したいとの連絡がありました。町としても、この事業に参画したことをきっかけとして、再度森林セラピー事業を見直し、安定的な運営を目指してまいります。



大江 厚子 議員

問 学校教育の主体は誰と考えるか

答 児童生徒だ!

問 学校教育の主体は誰か、教育の目的は何か問う。

答 教育長

主体は、児童生徒です。目的は確かな学力、豊かな心、健やかな体、これらがバランスのとれた生きる力の育成です。

問

児童生徒が問題意識を持って、自主的・自立的に考え行動できることを目指していかなければならない。教育現場では、いじめ・不登校、教育格差、不合理な校則や決まりによる子どもへの管理、教職員の自由裁量権の狭さ・多忙化、教育への公的支出の低さ等、課題は山積している。どう考えるか。

答

町長 役場も、そういった課題に取り組んでいきたいと思っています。

問

町長が進める教育大綱の策定について、地域住民の意向をどのように聴き反映させるか。

答

町長 有識者の先駆的な取組みを勉強し、たたき台をつくります。総合

教育会議の場に移った段階で町民の皆さんの意見を聞く場をつくりたいと思います。

問

教育懇話会で出た教育理念を本町で具体化するのか。ただ理念として掲げることには止めるのか問う。

答

町長 一律具休化というのは言い難い事と思っています。

高齢者医療・介護について

問

10月から新たに後期高齢者窓口2割負担の枠が新設された。本町の影響を伺う。

答

住民課長 本町では、13・21%、252人の方が対象となっています。特に大きな混乱や苦情もなく、実施をしています。

問

厚労省は後期高齢者医療加入者の保険料引上げを検討している。どのような状況か。

答

住民課長 現役世代の負担上昇を抑制するため、高齢者負担率の見直し、高

齢者世代内で能力に応じた負担の強化の観点で、年内に改革案がまとめられると聞いています。

問

さらに、介護保険制度の給付と負担の見直しも審議されている。内容と影響について伺う。

答

福祉課長 利用者負担の引上げ、被保険者や受給者の範囲、地域支援事業への移行サービスの拡大などの議論が進むのではないかと考えています。介護サービスが必要であっても、負担が大きいため控える方が増えてくるのではないかと懸念されます。

問

本人の健康や生活の自立、尊厳は損なわれ、家族の介護・看護の負担は増す。

また国は、防衛費2倍化の財源として増税を提起している。民衆を生活苦に追いやる国の政策についてどう考えるか。

答

町長 岸田総理もこの難局を乗り切っていたりしながら、我々は庁内の課題について取組みを進めたいと思っています。

問 令和4年度主要事業 進捗状況は



佐々木道則 議員

答 現在の状況を維持し、各施策 を進めて行く

問 施策全体の進捗状況に対する町長の見解は。

答 町長

各主要事業につきましては、各担当課のほうからヒアリングをするようにしております。その進捗状況を踏まえた上で、骨太プログラムを作成し、基本方針を見直し、町に提示をさせていただくという取組をさせていただいており、予定どおり進んでいるもの、思ったように進んでいないものがあり、何とかこの状況を維持しながら、引き続き各施策を進めていきたいと考えております。

問

事業毎の進捗状況は。

- ① 定住促進賃貸住宅整備調査業務
- ② 定住促進空き家活用住宅整備事業
- ③ 旧JR橋梁撤去
- ④ 特定地域づくり事業協同組合設立支援業務

答 建設課長

① 11月上旬、事業内容の説明会を開催し、11月下旬、民間事業者の意見提案等を確認するため、サウンディングの調査を実施したところで、今後は民間事業者の意見を参考にし、実施方針の削減を作成して、来年1月中に実施方針の公表を行い、実施方針公表後に、地元民間事業者を含め、事業者を対象とした説明会、勉強会を開催し、本事業への事業者の公募等の準備を進めてまいります。

問 企画課長

② 空き家バンクの登録物件から選定し、事業実施する予定でしたが、家自体の損傷等により改修費が多額になるなど、適切な物件を確保するのがなかなか難しい状況です。現在、物件の確保に向けて、広報等により、広く町内に周知、募集をかけており、今後も引き続き、適切な物件を確保できるように、努力してまいります。

答 総務課長

③ 令和4年度においては、実施設計を行い、解体工事については、令和5年度から令和6年度の2か年で実施を予定しております。

本事業は、国土交通省が行う河川改良工事との連携により、事業費の縮減が図られるよう事業調整を行っております。本年8月に設計業務内容について、設計請負業者、太田川河川事務所、本庁の3者で、工程内容の協議を行っており、今後の協議において、総事業費、工期設定、国と町の工事範囲の具体的な内容が示される予定となっております。

問 企画課長

④ 進捗状況は、7月14日に設立準備委員会を設立し、現在協同組合設立に向けて準備を開始し、現在5事業者が組合に参画され、2事業者が参画に向けて検討されており、引き続き町広報誌及びホームページにおいて、組合に参画希望を呼びかけるところです。

問 令和3年度・4年度、まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の評価戦略に対する町長の見解は。

答 町長

毎年度、役場の中において、評価した内部評価について、総合戦略会議において評価をいただくということになっており、その上で、この令和3年度4年度の内部評価では、子育て教育、健康福祉、社会基盤分野は、目標値の達成度合い、KPIの達成状況が比較的高く、一方で、産業、観光仕事の分野では達成度合いが低い傾向にあるというふうな結果だったと思っております。

各委員の皆様には、それぞれの観点から、様々な政策、個別政策についても、御評価、あるいは御意見をいただいております。引き続き、今年度の取組にしっかりと反映をさせていただきますと思うしております。

※その他、内部統制についての質問しております。



撤去予定の滝山川 旧JR鉄橋



影井伊久美 議員

問

「乳幼児等医療機関通院交通費助成制度」の実施を提起する

答

検討させていただければと思います

問

現状と課題。それに対して策を講じる必要性があるか否かのお考えは？

本町には小児科専門医療機関がなく、町立病院においても小児科医が不在の状況。

したがって、子どもが専門機関に受診するには、町外に向かなければいけないのが現状で、受診するには必ず交通費がかかっている。燃料高騰で家計に厳しい状況が続くガソリン代これに加えて高速代も負担しなければならぬ。

しかし、本町に小児科医を配属したり、開業医を誘致したりといったことは、子どもの人数も少ない現状において、現実的ではないということ。これらは、本町にとってウィークポイントであり、大きな課題であると考える。安心して子育てできるまちづくりのため、子育て世代の移住定住者に本町を選んでもらうため、何らかの対策が必要であると考える。

本町の「子どもの専門医療機関通院」における現状を、町はどのようにとらえられているか
また、課題に対して何かしらの対策を講じる必要性があるか否かの考えを問う。

答

健康福祉課長

現在、乳幼児子供医療費支給事業として、0歳から18歳到達後、最初の3月末までのお子さんを対象にして、自己負担額を医療機関ごとに1回500円、通院が月4日間、入院は月14日間を助成を行っています。しかし小児科の専門医に受診をするということになると、交通費については、ご家族の方に負担をかけています。

また、小児科専門のかかりつけが町内になくということに対して、やはり保護者の方に安心感を担保することが出来ていないという、やはり課題があるというふうに担当のほうでは考えております。

町長

現状、小学校高学年ぐらいの子供さんについては、安芸太田病院のほうでも診療を受けていただいているという現状がございます。かなり現場でも努力をいただいているというふうにも認識をしております。そういう状況を踏まえた上で気になるのは、小学校の低学年、あるいは乳幼児についてです。結果として、しんどい思いをして市内の小児科専門病院に行かれていますという現状があると思います。
安芸太田病院も御利用いただきたいと思っておりますが、それが全てが対応できるわけではありません。

問

「乳幼児等医療機関通院交通費助成制度」の実施を提起する。本町の子育て施策は比較的充実しているが、現に子育てされている方々から要望があるということとは、十分ではないことが伺える。

ハード面での整備が難しいということであれば、ソフト面でカバーしていかねばならないと考える。

答

町長

御指摘のような取組をさせていただければ、幼い子供さんを抱えている親御さんからすれば、安心感を感じていただけるのではないかとこのように感じています。本町に制度として組み込むのであれば、御指摘があったような、要綱あるいは、その財源諸々、あるいは、ほかの制度にどう影響するかといったこともこれから考えていかなければならないと思いますので、あわせて、そういったことも含めながら、来年度の予算編成をこれから取り組むところでもございますので、検討させていただければというふうに思っております。

問 豊かな自然どう生かすか



斉藤マユミ 議員

答 チャンスと捉え更なる情報発信

問

観光への取組みについては。

答

町長

地域の稼げる看板商品の創出事業モニターツアーを12月と1月に、読売旅行とANAがそれぞれツアーを企画しています。三段峡、グリーンスパつが、いこいの村ひろしまを宿泊地として、ふれて心に残るものを五感で味わうと題し、伝統工芸品「戸河内割物」の制作体験、神楽上演と体験、木工体験などの企画をしているところです。深入山一体がNHKで全国放送もされ、その反響は大きかったと感じています。

社会の情勢を取り込みながら、今まで以上の来客が見込める取組を進めてまいります。

問

うづの村の今後については。

答

町長

施設のある深入山の潜在的な可能性というのは、大変強く感じており、より多くの皆さんに楽しんでいただき、より多くの皆さんにお金を落としてもらえらる観光スポ

ットになるような取組が必要だと思っており、宿泊施設があるというのは重要だと思っております。

民間企業さんのいろんなノウハウ、さらには資金の調達能力も含めて、利用させていただきながら、有効活用を図って参ります。

問

定住に対する空き家の確保

について、民間の資金やノウハウを活用するPFI方式を採用し、官民一体で整備が進んでいるが、危険な空き家に対する対策は。

答

町長

相続登記が数代に行われていない例や解体工事を負担できない等、適切な管理が行われていません。所有者のモラル向上が重要だと考えています。所有資産の適切な管理については課題です。所有者に適切な管理を促していきます。

問

地域共通電子マネーについて

では、高齢者やデジタル環境のない人が取り残されることのないよう、丁寧な対応が必要。デジタル化が進んでも、誰もが理

答

町長

周知に努めて参ります。

解できるような講座を検討すべくと考える。



神楽体験の様子



伝統工芸品「戸河内割物」制作体験の様子



末田 健治 議員

問 加計スマートICフル インター化を問う

答 正式決定に向け準備を進める

空き家対策について

問 放置空き家は、地域課題となっている。空き家解体助成制度の活用件数は、放置空き家への今後の方針を問う。

答 建設課長

空き家解体助成制度の活用状況は、予算3百万円で6件の申請を頂いています。また、悪影響を及ぼす物件については、指導、第三者に被害を与える物件については、所有者に費用負担をして、対処し取り組んでいます。

林道管理について

問 津浪十二曲がり林道は、水管理に利用する道路でもあるが、豪雨時は取水口操作が必要であるが距離は4km、所要時間25分も要す重要路線と思われる。

答 建設課長

舗装は難しいと考えています。路肩の補修の他、2年に1回除草作業を実施しています。

移住対策について

問 移住対策の成果と課題を問う。空き家情報は地元自治会と連携が必要と考えるが如何か。

答 企画課長

転入者全体では、令和4年11月末で116名、で前年より31名上回っています。転出は同月で102名で前年を11名少なくなっています。課題は、移住者は賃貸を望まれ、貸主は売却を望まれるというミスマッチがあり、契約に結びつかない現状にあります。また、改修を必要としない物件を望まれているが物件登録件数は少ない現状にあります。

加計スマートICフル インター化の取り組み について

問 正式決定に向け、どのような準備を進めるか。また、事業金額の想定額について問う。

答 参事

今年9月30日に新規準備段階調査箇所として、国に選定頂いたいただきました。町としては今後現地測

量、詳細設計を進め、中国地方整備局とも連携し、フルインター化整備による地域への効果についても調査していきます。事業費については示せるものはないが大きな事業となり、本町の負担が少なくなるよう検討いたします。



「加計スマートインター」
検討段階におけるイメージ図
(検討段階であるため今後計画変更される可能性もあります)

養作りについて

問 11月22日、NHKテレビにおいて養作り後継者の取り組みが紹介された。全国的にも技術の保持者は少ないと思われるが、支援の考えを伺う。

答 町長

製品の販売も含め、情報発信など、できる限り支援していきたいと考えています。

問 黒い雨被爆認定、被爆二世への対応は



田島 清 議員

答 気持ちに寄り添い支援、情報提供する

問 黒い雨被爆者認定に伴う、いわゆる被爆二世への対応について。

答 町長

今年度、広報誌安芸太田におきまして、4月号と、9月号で黒い雨にかかる、申請等についての周知を行いました。被爆者、被爆二世の方の中には、健康不安やいろいろな偏見差別に苦しんでいらっしゃる方がいると思います。

広島県が行っている被爆二世検診の制度があり、県被爆者支援課へ申請すると、一般的な健康診断の項目を満たしている検診を無料で受けていただくことが出来ます。関係者の方々の気持ちに寄り添いながら、提供できる支援、また、情報提供を可能な限り、行っていきます。



観光ルート整備とトイレ施設の充実

問 観光施設整備について。

答 産業観光課長

各旅行会社には、観光のポイントとなるトイレについては、道の駅とか、国道191で「板ヶ谷」「かけはし」などを御案内をしています。トイレの設置をすれば維持管理の必要があります。費用対効果の考えながら検討してまいります。

また、加計スマートインターチェンジがこれからフルインター化すれば、当然バスの利用者もふえて、トイレの整備というのも考えていかなければいけないという問題意識は持っています。

安心・安全な通学路の確保を

問 通学路の安全確保について。

答 町長

現在小学校において、子供一人での通学実態はない。中学校では、

徒歩、自転車で通学されている生徒についても、小学校と同様に、保護者また地域の住民の皆様、交通安全指導員などに見守りなどの御協力得て通学をしています。

自転車通学の冬季間についてはスクールバスを利用して通学されている状況です。

通学路となる歩道の除雪の実施状況については、道路管理者において、歩道除雪基準をもとに除雪していただき、通学路の安全確保に努めていただいております。積雪量が多い場合には、車道除雪が完了したところから順次歩道除雪を行うこととなっております。

今後さらに、児童生徒数の減少が見込まれ、登校班の小規模化やスクールバス等への乗車児童生徒数の減少は避けられないと思っております。そのため、冬期や、自転車通学の際の雨天時におけるスクールバス利用の在り方など、様々な交通手段の利用実態を踏まえ、今後、検討を進めていきます。





小島 俊二 議員

問 町長の公約の自己採点は

答 まだ、道半ば、50点の状況

問 町長就任時に町民との7つの約束を掲げられたが、3年を経過した現時点での達成状況はどうか考えているか。

答 町長

私自身も、毎年いろんな取組をしています。基本として考えているのは、やはり、質問されている、選挙の際に住民の皆さんにお約束した七つの約束でございます。私自身の現状認識は、進んでいるところもあるし、進んでいないところもあります。その意味で、まだ道半ば、50点という状況だと思っております。

今までの取組も、まだまだできることはあるのではないかと思っております。これまでの取組をさらに進化をしていくということ、進めていくということ、これからもしっかりと続けていきたいと思っております。

問 令和4年の11月13日、日曜日深夜、火災を知らせるサイレンがけたたましくなりましたが、その後の無線放送が入らず、火災発生場所等の詳細が放送され

なかった。
当時の詳細と今後の対応策について。

答 総務課長

今回の放送ミスは、当直担当者の機器操作の誤りによるものです。研修は重ねていますが、いざといったときに、こういったヒューマンエラーが出るということ、非常に懸念しているところでございますが、引き続き研修を重ねてまいります。

ただ、システムの進歩により、既に携帯のスマートフォンに、この火事の現場の地図つきの情報が、広島市消防の指令室から直接送られてくる仕組が確立しておりますので、消防団は遅滞なく出動する体制となっております。

しかし、住民の皆様には不安を与えないよう、万全を尽くすよう努力してまいります。

問 安芸太田町は全国的に、トップクラスの子育て支援の町というところを、もう少し明確に打ち出していくべきである。
さらに、保育料の完全無償化、

給食費の無償化を実現し、図書館を充実するとか、子どもの通院費の無償化等全ての面での子育て支援等の拡充を求める。

答 町長

改めて小島議員の提案も含めて、来年度の予算編成に取り組んでいきたいと思っております。

しかし、安芸太田町は、医療費の無償化については、子育て支援で有名な兵庫県明石市に先立つ7年前から取組をしています。

さらに、第2子以降の保育料の無償化というのも、明石市に先行して本町は、5年前から取り組んでいます。このような取組、重要なんです。その取組をやっばり皆さん知っていただかないと、本来であれば明石市以上に、子育て支援を、既に十分取り組んでる市町として、知られていておかしくないのに、残念ながらそういう状況になっていない現実がありますので、ぜひ、我々も考えていきたいと思っております。



問

町長を中心に職員一丸となって「がむしゃら」にまちづくりを



矢立 孝彦 議員

答

「逆転の発想」で頑張りたい

徹底した「水資源」の活用戦略と実行について

問 平成24年度（2012）町が取り組んだ「小水力発電適地評価事業」は、その後中断しているのはなぜか。

答 企画課長

事業の採算性等の発電施設導入について調査検討し、事業化の可能性はあるとの結果でしたが、それ以降、着手されていませんが、本町の地形等を活用した小水力発電は町内各所で可能性はあると思われまます。

問

「広島の水がめ」である本町の水資源活用施策の現状は、極めて不十分である。

町長のおめぞす「水を資源ととらえたまちづくり」をあらためて伺う。

答 町長

平成24年度調査は把握しており、水を利用した取り組みは大変重要なテーマですので、今後引き続き

検討します。

また、可能性の高いバイオマスなど再生可能エネルギーの取り組みも本町の貴重な資源を活用し考えていきたいと考えています。

「負の資源」ととらえられている事案の蘇生策について

問 町の遊休施設、遊休地等の現状は。

答 総務課長

旧JR跡地、学校舎など多くの遊休施設があり、令和3年度（2021）決算時点で、維持管理費用は、年間約3558万円。それに対し収入は340万円程度です。

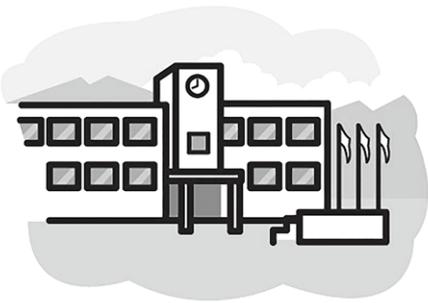
問

遊休施設などの負の資源を「あきおたから」ととらえる逆転の資点に転換すべきでは？ 予算編成を前に、町長を中心に職員一丸となって、とにかくがむしゃらにまちづくりにあたりたい。いかがか。

答 町長

遊休施設等が決して負の資源とは思っていませんが、より有効に活用できる方策がないかと外部の力もお借りしながら対応したいと思います。

今年度より「骨太プログラム」に既存施設の活用を示し取り組んでいます。今後さらなる有効策を逆転の発想で運用できるよう頑張ります。



令和5年度「予算編成基本方針」についてお知らせします。

橋本町政も3年目を迎え、3回目の予算編成の時期がきました。

12月定例会で予算編成の基本方針が示されましたので、お知らせします。

3月定例会に示される、令和5年度当初予算に具体的な事業展開を期待するとともに、議会としても厳しくチェックをしていきます。

1. 第2次後期基本計画・第2期総合戦略に沿った戦略的かつ重点的な施策の展開

(1) 「住み続けたい、住んでみたい」まちづくりの具現化

- ①U・I・Jターンしたくなる住宅の整備
- ②「自然を活かした」魅力ある雇用の創出
- ③道の駅再整備事業の着実な推進
- ④デジタル技術を活用した生活環境の充実
- ⑤地域包括ケアシステムのさらなる充実
- ⑥災害に強いまちづくり
- ⑦病院経営改革プランの推進
- ⑧更なる賑わいに向けた既存施設の活用
- ⑨地域の活性化に繋がる施設の整備

(2) まちづくりビジョンの更なる進化・深化

- ①水を活かした町づくりの具体化
- ②自然を活かした教育環境の具体化
- ③健康づくりを通じたまちづくりの具体化
- ④脱炭素社会・地域循環型社会の具体化
- ⑤公共施設の整理・合理化の具体化



2. 環境変化に対応する行財政運営の推進

3. 事業の選択と集中、新規事業の提案・事業見直し

4. エビデンスに基づく効果的な政策形成と事業の構築・推進

5. 後年度財政負担の軽減（公債費等の抑制等）

町長行政報告（12月定例会から）

①安芸太田町らしい教育の在り方懇話会

10月5日に、第2回目の「安芸太田町らしい教育のあり方懇話会」を開催しました。

今回からは、各委員より本町らしい教育についての具体的な提言をいただくということで、トップバッターとして、森のようちえん全国ネットワーク連盟理事長内田幸一様に「森のようちえん化に向けて」というタイトルで森のようちえん開設までの流れや子どもたちの生活の様子、森のようちえん化に伴う課題などを説明いただきました。

②morica（もりか）カードの運用開始

安芸太田町DX推進計画に基づくmorica（もりか）カードについて、11月中旬から住民の皆様お一人に1枚を交付するとともに、12月1日から町内の加盟店でご利用いただける7000円分の地域通貨を付与しています。

加盟店登録は11月末時点で、62件に達しているところですが、引き続きハートフル協同組合と連携して、加盟店登録を増やしてまいります。また、moricaカードを活用した定額タクシー事業も12月1日からスタートしています。

追跡レポート



あの質問は
どうなった？

町行政全般に対し、質問できるのが一般質問です。今定例議会でも多くの議員が質問を行いました。

過去に質問したことが、現在どうなっているのか？その後の対応状況を調査し、皆様にお知らせします。

令和3年9月定例会 末田 健治 議員

●加計スマートICのフルインター化を問う

国土強靱化の推進が求められている中、防災・減災対策として交通ネットワーク、ライフラインの維持し、国民経済、生活を支えられる対策が示されている。

大雨等による幹線道路の通行止めの際における非常用の交通手段としての機能も踏まえ、加計スマートICのフルインター化を求める請願も提出されているが受け止めと実行への方策についてを問う。

【答弁】

費用対効果、採算性、便益性において、現状難しいと考えているが幹線道路が寸断された際のバックアップルートとして使えることは町にとっても極めて有意義な提案と考える。

町単独で実現することは困難であるため、国のほうにも支援していただけるよう要望活動を行っていききたい。

【その後】

町と議会では国へ対し要望活動を行った。令和4年9月30日に国において新規準備段階調査着手箇所（全国で4箇所のうちの1つ）に選定された。

また、フルインター整備に向けて計画的かつ効率的な準備・検討を推進するため、「加計スマートIC（フル化）準備会」が11月21日に発足する。

※その他議員からも同様の質問がありました。

令和3年6月定例会 角田 伸一 議員

●道の駅「来夢とごうち」建設は

重点道の駅に選定され地域商社機能とDMO機能を発揮しながら道の駅の運営を一体で進めるといった提案が評価され、選定されたと言われている。

しかし、平成30年度に選定を受けてからここまで、建設に向けた進展が見えないが建設に向けたスケジュールはどうなっているのか。

【答弁】

地域商社と役場だけでなく、町内の観光事業者、産業の事業者にも関わっていただきながら、全体で議論を進めていく体制づくりをしていきたい。

また、本年度中に基本計画を策定する予定で進めているが全体の基本計画の策定とともに、観光振興基本方針・産業振興基本方針を策定して計画して実行していききたい。

【その後】

6月30日、「道の駅再整備基本計画（中間報告）」を公開。

11月24日、道の駅「来夢とごうち」再整備基本計画策定検討委員会を開催。

（公募型サウンディングを12月から実施する予定。）

※その他議員からも同様の質問がありました。

総務常任委員会

視察報告

安芸太田町では高齢化・少子化が進行しており、移住定住対策が行政施策の柱として取り組んでいます。

総務常任委員会では子育て環境として、公立学校ではできない学習方法で成果を上げている「ながさき東そのぎ子ども村小学校・中学校」及び、移住定住対策で成果を上げている那珂川市について、先進地視察を行いました。

・視察日 10月12日・13日

・視察先 長崎県東彼杵町

「ながさき東そのぎ子ども村小学校・中学校」

福岡県那珂川市

「那珂川市役所」

「那珂川市移住交流促進センターSUM-I-TSUKU」

・参加者 総務常任委員（4名）

随行事務局職員（1名）



東そのぎ子どもの村小学校(校舎前)



東そのぎ子どもの村小学校 説明会



移住交流促進センター内



那珂川市 説明会

産業建設常任委員

視察報告

安芸太田町内の林業を活性化する取り組みとして、木質チップを活用したバイオマスガス化発電で成果を上げている「津和野フォレストエナジー発電所」について、先進地視察を行いました。原料となる木材の供給が町内の森林更新につながることで森林の成長を促し、二酸化炭素吸収機能の強化にもつながるメリットがあるものと考えています。

・視察日 9月20日

・視察先 島根県津和野町

「津和野フォレストエナジー発電所」

・参加者 産業建設常任委員（4名）

町長

企画課（1名）

産業観光課（2名）

随行事務局職員（1名）



発電機器（フィンランド製）



チップヤード



視察風景



総務常任委員会

■委員会開催 12月5日
○請願・陳情について

- ・第14号
国民健康保険料、後記高齢者医療保険料、介護保険料の減免実施を求める陳情書：継続審査
- ・第15号
物価高騰に対する支援を求める陳情書：継続審査
- ・第19号
子どもの医療費助成制度の拡充を求める陳情書：継続審査
- ・第20号
低所得者の生活支援を求める陳情書：継続審査



産業建設常任委員会

■委員会開催 12月5日
○請願・陳情について

- ・請願第5号審査
増水時における修道橋の安全性に関する請願書：採択

【陳情第16号、第17号、第18号審査】

- ・第16号
地方ローカル線を守るために鉄道事業法の改正を求める陳情書：継続審査
- ・第17号
最低賃金の改善と中小零細企業支援の拡充を求める陳情書：継続審査
- ・第18号
インボイス制度（価格請求書等保存方式）の実施の中止・延期を求める陳情書：継続審査



修道橋

地方創生調査特別委員会

■委員会開催 12月5日

- ・道の駅「来夢とごうち」再整備基本計画の検討状況について
公募型サウンディング調査（12月～1月に予定）

- ・加計スマートインターチェンジフルインター化の検討状況について
高速道路出入口と接続する町道の構造、高速バス停留所の位置決定（今年度末までを予定）

- ・現地測量、道路設計着手（来年度からの予定）
- ・筒賀拠点施設整備計画の検討状況について
筒賀拠点施設整備計画策定委員会第1回意見交換会の状況報告

議会改革調査特別委員会

■委員会開催 12月8日

- ・議案第76号
安芸太田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

議員期末手当の改定について
年3・2月↓年3・3月

編集後記

親しみやすい議会だよりを目指した「もりみんだより」も愛称募集により昨年64号から1年目となりました。

町内では、3年ぶりの「文化・芸能フェスティバル」や「吉水園」一般公開などが開催されました。また、安芸太田町神楽連絡協議会が発足するなど明るい兆しも見えています。

広報公聴調査特別委員会で、一般質問が町政にどのように反映されたのか特集記事を企画しています。

伝える「たより」、伝わる「たより」にするために、読んでくれる人のことを大切に取組んでまいります。

「もりみんだより」を親しみのある広報紙に育てる取り組みにご意見ご協力いただきますようお願いいたします。

（田島 清）

◆広報・広聴調査特別委員会

- 委員長 田島 清
- 副委員長 影井伊久美
- 委員 齊藤マユミ
- 委員 小島 俊一